

第3章 各種環境施策

第1節 地球温暖化対策

地球温暖化等の環境問題が地球規模で広がりを見せ、将来世代へも影響を及ぼすことが懸念されていることから、地球温暖化対策には、環境対策と経済活動を両立した持続性のある取組が求められています。

【実施事業】

1 奈良市地球温暖化対策地域協議会（通称：ならエコ・エコの和、NEW）

奈良市地球温暖化対策地域協議会は、地球温暖化対策の推進に関する法律第40条第1項に基づく組織で、平成20年10月26日に設立されました。市民、事業者、行政等が対等な立場で和をもって協議し、パートナーシップにより地球温暖化対策等の活動を推進することで、環境（エコロジー）も経済（エコノミー）も持続可能な社会をめざしています。当協議会では、省エネ・創エネの推進、環境教育の推進、3Rの推進、公共交通機関の利用促進等のプロジェクトが進められています。

(1) NEW環境講座

平成28年6月28日に「桂吉弥落語会」及びNEW会長との座談会「落語から見える昔のエコな暮らし」を西部会館学園前ホールで開催し、参加者は174名でした。座談会では、伊勢志摩サミットで話題となった伊勢参りを題材に昔の生活と今の生活を比べ、昔の生活を思い浮かべ、もう一度生活を見直し地球のことを考えようというメッセージを発信しました。



(2) 地産エネルギーの活用

平成28年8月13日、14日に東大寺にて地産エネルギーの小水力発電として自転車ハブダイナモを利用したピコ発電を実施し、午後7時からの大仏殿の夜間特別拝観と燈花会の開始前に点灯式を行い、来場した人に興味を持って見学していただきました。



(3) 「茶話～タイムズ」の発行

「エコや環境に気付いてもらう」ことをコンセプトに広報誌「茶話～タイムズ」作りに取り組み、夏季号を作成・配布しました。また、奈良市から委託を受けた「COOL CHOICE普及啓発冊子制作等業務」のCOOL CHOICE普及啓発冊子として、茶話～タイムズの冬季号を特別号とし、6,000部を市民に配布しました。



2 国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」普及啓発

パリ協定で日本の約束草案に掲げられた、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するという目標を達成するため、地域の民生・需要分野や家庭・個人の自発的な取組を促し、地域住民や各種団体と連携して、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」の普及啓発を実施しました。

(1) おしえてECOキッズ・あつまれECOキッズ

「おしえてECOキッズ」として、環境講座「ECOキッズ!ならの子ども」を受講した小学生等を対象にエコアイデアコンテストを実施しました。応募のあった145点の作品から、44点を最優秀・優秀・入選として選考し、その表彰式及び発表会を開催するとともに、啓発コーナー・体験コーナーで多くの子どもたちに楽しくエコを学んでもらう機会としてイベント「あつまれECOキッズ!」をはぐくみセンターで開催し、多くの市民が来場しました。



(2) COOL CHOICEセミナー

奈良市地球温暖化対策地域協議会や市内で活動している環境NPO団体等の協力を得て、家庭でできる省エネのコツや自然エネルギーの活用等について専門家が出席してセミナーを14回開催し、292名の参加がありました。



(3) エコポイントによる普及啓発

「関心はあるが実践しない」層にインセンティブを与え地球温暖化防止に向けた行動を促すことを目的に、奈良市ポイント制度の中にエコポイントを設け、「あつまれECOキッズ!」や「COOL CHOICEセミナー」等の参加者にポイントを付与し普及啓発を図りました。